

潤滑剤や自動車向けトライボロジーテストのデファクトスタンダードであるSRV®の受託試験

最新機種「SRV®5」を用いた受託試験を開始しました。約40年にわたるSRV®の販売実績と知見に基づき、エンジンオイルにおける添加剤の種類や添加量による性能評価から、油中での各種コーティング被膜の評価など、幅広いシミュレーション試験を実施し、信頼性の高い解析結果を報告いたします。

## SRV® 振動摩擦摩耗受託試験の特徴

- 試験の基本動作は振動(オシレーション)と回転(ローテーション)の2種が行えます
- 試験チャンバー内の温度・気圧・湿度の環境制御が可能のため、様々なシチュエーションで試験が行えます
- 測定姿勢の変更が可能のため実際の使用に則した摩擦摩耗試験が可能です
- 国際規格のDIN、ASTMに準拠しているため、様々な試験規格に対応した結果を得ることができます
- 国際ラウンドロビン試験により試験結果が正確であることが証明されています
- 40年の販売実績を生かしたデータ解析・解説を基に適切な結果を報告いたします



### 主な仕様

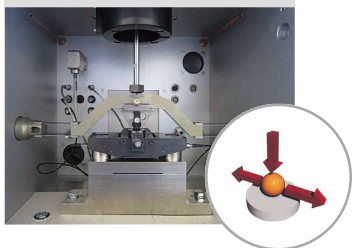
オシレーション：0～5mm  
ローテーション：0～2000rpm  
温度：-35°C～350°C  
湿度：相対湿度 30%～90%  
摩擦摩耗接触の傾斜角度：0%～90%

### 測定対象

- 薄膜や基材における振動摩擦摩耗試験
- 実部品を実使用に近い環境で試験
- 摩擦信号解析
- 試験片間の電気抵抗測定
- 試験チャンバーの湿度と温度の測定 など

## 測定方法

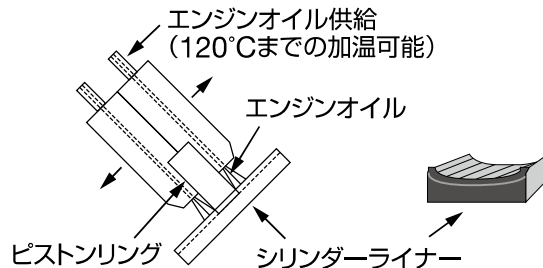
オシレーションユニット



ローテーションユニット

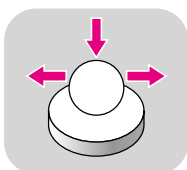


オシレーションとローテーションによる振動摩擦摩耗試験が実施できます。

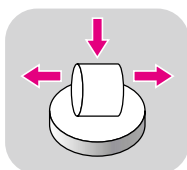


たとえば、ピストンリングとシリンダーライナーのしゅう動状態を測定するなど、実使用に近い環境で試験することが可能です。

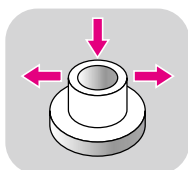
点接触



線接触

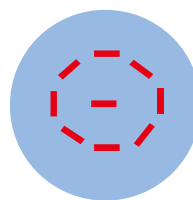


面接触



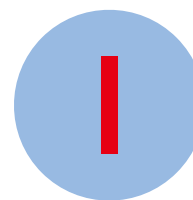
SRV® ベーシック構成では、上記3種の試験が可能です。

▶ 点接触 試験片シフト使用

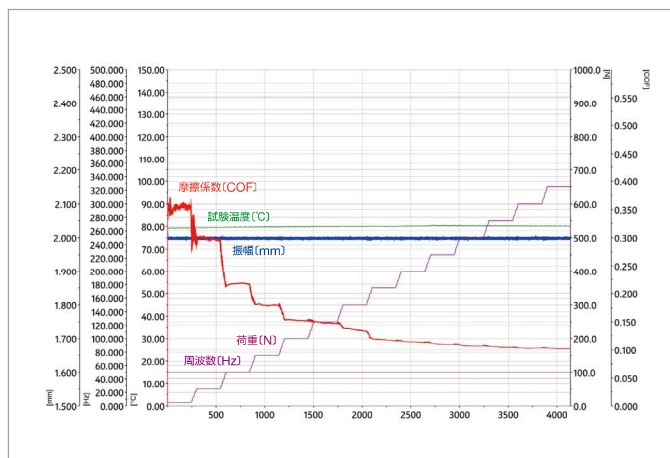
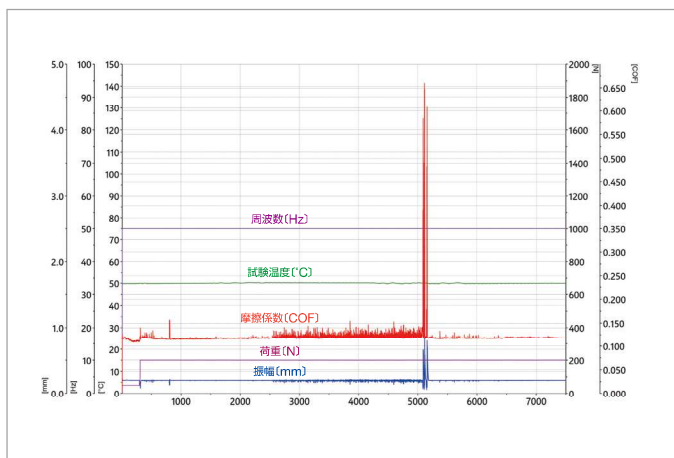


点接触の場合：片面9箇所使用可能

▶ 線接触 試験片中央使用



## 測定例



**パーカー熱処理工業株式会社**  
PARKER NETSUSHORI KOGYO CO., LTD.

加工事業本部 東川崎工場

〒210-0822 神奈川県川崎市川崎区田町3-13-18  
TEL:044-276-1585 FAX:044-299-1755  
<https://pnk.co.jp>

## 交通アクセス

